

様式第 1

ばい煙発生施設設置(使用、~~変更~~)届出書

不要な箇所は二重線で消す

年 月 日

尼崎市長 殿

届出者 住所 (法人にあつては主たる事業所の所在地)

工場長等が届出者となる場合は  
委任状を添付

氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)

6条1項：設置  
7条1項：使用  
8条1項：変更

担当者氏名：

電話番号：

大気汚染防止法第 6 条第 1 項(~~第 7 条第 1 項、第 8 条第 1 項~~)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	施設が設置等される事業所の名称	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	施設が設置等される事業所の住所	※受理年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類の種類	施設の項番号、種類及び数 例：第 1 項 ボイラー 1 基	※施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙 1 のとおり。	※審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	※備考	
ばい煙の処理の方法	別紙 3 のとおり。		

備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 に掲げる項番号及び名称を記載すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

変更届の場合、左列に変更前の数値等を、  
右列に変更後の数値等を記載すること

ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号		事業所で管理している 施設ごとの番号	
名称及び型式		一般的な施設名称、 メーカー名及び型式	
設置年月日		——	設置届の場合：記載不要 使用・変更届の場合：施設が設置された日
着手予定年月日		——	届出日より 60 日以上後になっていること
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規          模	伝熱面積(m <sup>2</sup> )		
	燃料の燃焼能力 (重油換算 I/h)	重油換算した値	
	原料の処理能力(t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること
	焼却能力(kg/h)		
	乾燥施設の容量(m <sup>3</sup> )		
	電流容量(KA)		
	ポンプの動力(KW)		
合成・漂白・濃縮能力(kg/h)			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日産業規格 A4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

変更届の場合、左列に変更前の数値等を、  
右列に変更後の数値等を記載すること

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		別紙1と同じ施設番号			
使用状況	1日の使用時間及び月 使用日数等	時～時 時間/回/回/日/日/月		時～時 時間/回/回/日/日/月	
	季節変動				
原材料 (ばい煙の発生に 影響のあるもの に限る。)	種類				
	使用	ばい煙 (ばいじん、SOx、NOx、有害物質)			
	原材料中の成分割合 (%)	いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分	いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分
	1日の使用量				
燃料又は 電力	種類	重油、都市ガス、電力等具体的に記載			
	燃料中の成分割合 (%)	灰	重量比%か容量比%かを明らかにし、 メーカー保証の最大値を記載	窒素分	
	発熱量	高位(総)発熱量を記載			
	通常の使用量	液体燃料の場合はℓ/h、気体燃料の場合はNm <sup>3</sup> /h			
	混焼割合	専燃の場合は〇〇専燃と記載し、 混燃の場合は通常操業時の 燃料使用量の熱量比割合で記載			
排出ガス 量(Nm <sup>3</sup> / h)	湿り	最大	通常	最大	通常
	乾き	最大	通常	最大	通常
排出ガス温度(℃)		通常のガス温度を記載			
排出ガス中の酸素濃度(%)					
ばい煙の 濃度	ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常
	いおう酸化物 (乾き排ガス中の濃度を記載 (処理施設がある場合は処理後の濃度))		通常	最大	通常
	化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常
	塩素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常
	塩化水素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		通常
	弗素、弗化水素及び弗 化珪素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		通常
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常
	窒素酸化物 (容量比ppm)	最大	通常	最大	通常
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	通常	最大	通常
参考事項					

備考1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用(専ら非常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにすること。

別紙 事業所で管理している処理施設ごとの番号  
(処理施設がない場合は記載不要)  
(煙突は処理施設ではない)

変更届の場合、左列に変更前の数値等を、  
右列に変更後の数値等を記載すること

の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における 施設番号						
一般的な処理施設名称、メーカー名及び型式 (処理施設がない場合は記載不要)		別紙1と同じ施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式						
設置年月日		年 月 日		年 月 日		
着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大				
		通常				
	排出ガス温度 (°C)	処理前				
		処理後				
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前				
		処理後				
	いおう酸化物 (容量比ppm)	処理前				
		処理後				
	カドミウム及びその 化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前				
		処理後				
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前				
		処理後				
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前				
		処理後				
	設備仕様書を参照するか、 メーカーに問い合わせるか、 同種施設より類推すること (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前				
処理後						
窒素酸化物 (容量比ppm)	処理前					
	処理後					
ばい煙量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前				
	通常	処理前				
捕集効率 (%)	ばいじん					
	いおう酸化物					
	カドミウム及びその化合物					
	塩素					
	塩化水素					
	弗素、弗化水素及び弗化珪素					
	鉛及びその化合物					
	窒素酸化物					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		時～時 時間/回/日/日/	時～時 時間/回/日/日/		
	季節変動					
排出口の実高さ H <sub>o</sub> (m)		地上からの高さ				
補正された排出口の高さ H <sub>e</sub> (m)						
排出速度 (m/s)						

備考1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 補正された排出口の高さ H<sub>e</sub> は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。

4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添附すること。

添付書類

測定孔に関する注意事項

- ①内径は 100～150mm 程度のものとし、JIS Z 8808 に定める測定位置が確保できるような位置に設けること
- ②煙道の方向はなるべく垂直とすること
- ③できるだけ長い直管部とし、少なくとも絞りや屈曲部分から煙道直径又は縦寸法の 1.5 倍以上離れた位置とすること
- ④送風機の前後、合流、又は分機部などガス流に変化のある箇所や出すとのたまりやすい場所は避けること
- ⑤測定作業が安全かつ容易に行われるよう、高い所など危険のある場所は避けるか、足場等を設けること

ばい煙の発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の概要並びに排出ガスの測定箇所

ばい煙発生施設名	別紙1と同じ名称及び型式
測定位置高さ ( m )	地上からの高さ
測定位置煙道構造	測定孔が設けられている部分の煙道の形状 (円形・方形) を記載
測定孔の大きさ (直径mm)	
ばい煙の発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の概要並びに測定位置	
測定位置煙道の方向	測定孔が設けられている部分の煙道が地面に対して、水平方向の場合は水平、垂直方向の場合は垂直と記載
測定孔フランジの詳細図	
測定点位置の断面図・番号	
通風方式	煙突のみによる場合は自然と記載 機械的方法による場合はその種別 (押込・誘引・平衡等) を記載